

令和元年8月18日  
今週のベストショット



雁レク軟式2 奈多クラブ 対 新町ウインズ  
初回、先頭打者HRで打線に火をつけた新町ウインズ一番の泉 太一選手。  
(写真：塩浜ジャガーズ 小金丸 賢二)

**奈多グラウンド フェニックス逆転勝利！**

奈多サンデーズ (4勝3敗) 02000 2 古賀(開) ●、木下一野々下  
奈多フェニックス (3勝5敗1分) 1022× 5 今林(勇) ○-実延

**2BH**：実延(奈多フ) **盗塁**：古賀(開)(奈多サ) 能丸(奈多フ)

奈多サンデーズ古賀(開)投手、奈多フェニックス今林(勇)投手の先発で始まったこの試合。今林(勇)投手は立ち上がり制球が定まらず、3つの四球で満塁のピンチを背負うも、後続を打ち取りなんとか無失点で切り抜ける。満塁のチャンスを活かせなかったサンデーズは、その流れからかフェニックス一番高原選手にヒットを許すと、2つのバットエラーミスで三塁に進まれ、三番能丸選手の犠牲フライであっさり先制を許してしまう。この流れのまま立ち直りたい今林(勇)投手だが、二回表に2本のバントヒットとライト前ヒットで初回に続き満塁のピンチを背負う。二回連続で満塁のチャンス逃すまいと、三番江口選手が上手く一二塁間を破り、2人の走者が生還し逆転に成功。取られたら取り返す、1点を争う好ゲームとなり、迎えた三回裏のフェニックスの攻撃。二死後、三番能丸選手が低めの球を上手くすくい、センター前に落とすと、続く四番実延選手の打球は一塁へのゴロでチェンジかと思われたが、この打球がイレギュラーし大きく跳ね一塁手の頭上を越し、ライトに転がると、ライトが処理を誤ってしまい一気に一塁走者まで生還し、思わぬラッキーな形で同点とする。逆に嫌な形で失点したサンデーズは、さらにバットエラーミス等で逆転を許してしまうと、四回にも2点を追加されてしまう。

反撃したいサンデーズだか、三回以降立ち直った好投手今林（勇）の前に三回、四回とチャンスを作れず、五回の攻撃。2本の内野安打と四球で一死満塁のチャンスを作る。しかし、今林(勇)投手が気合いの投球をみせ、三振とピッチャーゴロに打ち取り無失点で切り抜ける。五回裏のフェニックスの攻撃中に時間切れとなり、フェニックスの勝利となった。結果的には三回もの満塁のピンチを2失点で踏ん張った今林(勇)投手の粘りのピッチングが勝利を呼び込んだ！（記事・写真：三苦ホーネッツ 井手 涼次朗）



奈多フェニックス先発の今林勇太投手。



奈多サンデーズ先発の古賀 開投手。



一回裏、いきなりヒットを放つ一番高原選手。



先制の犠牲フライを放つフェニックス三番能丸選手。



ゴロを処理するサンデーズ二遊間。



二回表、逆転のタイムリーを放つサンデーズ江口選手。



同点タイムリーを放つフェニックス実延選手。



ベンチで準備を欠かさないサンデーズ前田選手。



途中登板のサンデーズ木下投手。



貴重なタイムリーを放つフェニックス今林(英)選手。

## 雁レク軟式2 投打のバランス、バッチリ！！

奈多クラブ (5勝3敗) 0000000 0 吉田●、馬場口、大石—安河内

新町ウインズ (2勝3敗2分) 601000× 7 藤田○—吉浦

HR: 泉(太)、今林(新町ウ) 3BH: 本田(奈多ク) 盗塁: 安藤(一)(新町ウ)

終盤に差し掛かったお盆明けの一戦は奈多クラブ先攻で始まった。今期勝星に恵まれないウインズは、先発の藤田投手が強打の奈多クラブ打線を三者凡退と完ぺきな立ち上がりを見せる。一方奈多クラブは今シーズン好調、5勝の吉田投手が先発。しかし一回裏、今期今一つ調子が上がらないウインズ一番、泉(太)選手に左中間への先制本塁打を浴びると、制球が定まらず4連続四死球により押し出しで失点、更に満塁から六番今林選手に左前への2点打を浴び4失点。奈多クラブはここで吉田投手から馬場口投手に交代。すかさず2アウトを取るも、九番山口選手に左前2点打を浴び初回に6点を許してしまう。直ぐに反撃したい奈多クラブだが、二、三回も好投藤田投手の前に三者凡退と出塁すらできない。ウインズも三回裏、この日絶好調の六番今林選手が右中間へ本塁打を打ち、1点を加え引き離しにかかる。四回表、何とかしたい奈多クラブは一番今林(祐)選手が中前へチームの初ヒットで出塁し、2四球で二死満塁のチャンスを作るが、後続が続かず得点を奪うことが出来ない。奈多クラブは鋭い当たりを放つものの、ウインズ外野陣の好守に阻まれてしまう。試合はそのまま七回を迎え、奈多クラブ最後の攻撃も2アウトとなる。しかし七番本田選手が左越三塁打放つと、八番木状選手の死球で一三塁の得点機を演出する。ここは一矢報いたいところであったが、最後は藤田投手が三振に打ち取りゲームセット。投打ががっちり噛み合ったウインズが2勝目を挙げた。一方敗れはしたものの、奈多クラブにとっては3番手で登板

した、リーグ初参加、左腕大石投手が2イニングで4三振のキレのある投球を見せ、終盤戦への収穫となったのではないだろうか。両チーム合わせ内野ゴロ4個、飛球アウト23個という非常にフライアウトの多い、興味深い試合だった。(記事：塩浜ジャガーズ 水流 隆広、写真：小金丸 賢二)



チョッと少ない奈多クラブ。



いっぱいいます、新町ウインズ。



ウインズ先発、藤田投手。



奈多クラブ先発、吉田投手。



先頭打者本塁打、泉 太一選手。



盗塁成功、安藤一步樹選手。



奈多クラブ二番手、馬場口投手。



あいや、待たれい！



本塁打でホームイン、今林孝智選手。



チーム初ヒット、今林祐将選手。



奈多クラブ三番手、大石投手。



六回表、意地の三塁打を放った本田選手。



奈多クラブ期待の大石投手。



ウインズ今林、泉（太）、藤田のヒーロー3選手。

## 青松園B 先頭打者の出塁が得点の鍵に！

三苦フレンズ (6勝1敗1分) 3 3 3 1 0 0 1 0 山口○、生野(拓)ー佐藤(由)  
和白新町パイレーツ (6敗2分) 0 0 0 2 0 1 3 河原●、松本、吉田ー吉田、松本  
HR: 生野(拓)(三苦フ) 3 BH: 山口、佐藤(由)(三苦フ) 盗塁: 吉村3(三苦フ)

初回、三苦フレンズ先頭の吉村選手がサードへの内野安打で出塁すると、すかさず盗塁を決め相手バッテリーを翻弄して、フレンズの流れにもっていく。するとフレンズは四回までに10得点と大量リード。負けてられないパイレーツも、四回裏、変わったフレンズ生野(拓)投手から三番小林選手から5連続四球で2点を返し、なんとか差を縮める。迎えた最終六回裏、このままでは終われないパイレーツは、四番松本選手が意地のヒットで出塁すると四死球等で1点を返すも、このままゲームセット。初回から自分たちのペースで試合を運んだフレンズが勝利した。



パイレーツ先発の川原投手。



4点目のホームを踏むフレンズ松尾選手。



フルスイングでチームを鼓舞するパイレーツ小林選手。



パイレーツ二番手の松本投手。



フレンズ二番手の生野拓磨投手。



健闘をたたえ合い。

## 青松園A 四球が…

ブルーマーリンズ（1勝7敗） 0040 4 児玉、横山（祥）●ー井上（陽）

三友クラブ （5勝2敗1分）4113 9 中内○、足達ー谷崎

2BH：松尾（三友ク） 盗塁：松尾、平田2、駄原（三友ク）

ブルーマーリンズは一回裏、先発児玉投手の6者連続四球や暴投などでいきなり4点を奪われてしまう。ブルーマーリンズは二回にも1点を失うも、三回表途中出場の七番横山（祥）選手が左前安打で出塁するとその後一死一二塁とし、一番井上（紘）選手、二番児玉選手の連続安打で1点を返すと、その後は相手野手の失策などでこの回4点を返し1点差に詰め寄る。しかし、その裏一死一三塁から三友クラブ八番坂本（耕）選手の放った二塁ゴロの間に1点を追加されてしまう。ブルーマーリンズは四回表、前の回の攻撃のようにいきたいところではあったがこの回から登板した三友クラブ足達投手の見事な投球によって無失点に抑えられてしまう。そして四回裏三友クラブは三番松尾選手、五番谷崎選手の適時打などで3点を追加。なおも三友クラブの攻撃は続くも、七番広瀬選手が四球を選んだところで時間切れとなり試合終了。ブルーマーリンズにとっては四球に始まり、四球に終わる敗戦となってしまった。（記事：雁の巣ライナース 明瀬 旭、写真：宇野 元康）



試合に臨むブルーマーリンズナイン。



一回表、ブルーマーリンズ一番井上（紘）選手の打球。



三回表、中前へ適時打のブルーマーリンズ二番児玉選手。



流れを渡さない三友クラブ足達投手の好リリーフ。



四回裏、ダメ押し適時打を放った三番松尾選手。